

## 第1回岬町総合計画審議会 意見要旨と対応方針・修正案

日 時：令和2年3月16日（月）10:00～12:00

場 所：岬町役場3階 第2委員会室

第5次総合計画（はじめに）素案（審議会意見による加筆修正） ※修正箇所は太字で記してある。

No.	意見	対応方針	新（修正案）	旧（前回素案）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増加のためには行うべき施策を絞るべきだ。子育て層を呼び込むためには教育の充実と雇用の促進に重点を置くべきだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想における基本政策で、施策に言及する。</li> </ul>	—	—
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の便が悪いと記載されているが、アンケートの年齢別回答結果の結果を踏まえて判断するべきだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問1-4について、年齢クロス集計を提示する。</li> <li>60～69歳ならびに70歳以上を除くすべての年代で「交通の便がわるい」が最も多くなっていることから、「最も」を削除。</li> </ul>	P12 ⑤都市基盤の整備と維持への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民意識調査において、住み続けたくない理由として「交通の便がわるい」、「<b>買物など日常生活が不便</b>」という回答が多く、生活利便性を維持・向上させる必要があります。</li> </ul>	P9 ⑤都市基盤の整備と維持への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民意識調査において、住み続けたくない理由として「交通の便がわるい」という回答が<b>最も多く</b>、生活利便性を維持・向上させる必要があります。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野でソフト面の取り組み、仕組みづくりが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政が住民主体のまちづくり活動を支援することを追記。</li> <li>分野ごとの取り組みは基本計画で記載。</li> </ul>	P13 ②コミュニティの活性化と協働のまちづくりへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…すべての住民が一体感を持ち協力し合う住民主体のまちづくり、<b>行政による活動支援及び持続可能な仕組みづくりが求められます。</b></li> </ul>	P11 ②コミュニティの活性化と協働のまちづくりへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…すべての住民が一体感を持って協力し合う住民主体のまちづくりが求められます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>南海電鉄の新大阪延伸にあたって、言及が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新大阪駅の乗り入れは2031年を予定していることから、記載を見送る。</li> </ul>	—	—
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道の維持に関して、町の課題が記載されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町が行っている下水道事業について加筆する。</li> <li>※道路と橋りょうは老朽化対策が主体であるが、下水道は下水道の普及と管理が主体なので、別々の記述とした。上水は、広域事業団なので、書き方に工夫</li> </ul>	P12 ⑤都市基盤の整備と維持への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…道路、橋りょうなどの都市基盤の老朽化が進む中で、適切な維持管理に加え、建て替えや長寿命化を<b>前提とした維持管理に加え、適正な配置を視野に入れた更新の検討を、また、下水道設備については維持と拡充の検討を行い、</b>極力将来に負担を掛けない取り組み</li> </ul>	P9 ⑤都市基盤の整備と維持への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…道路、橋りょうなどの都市基盤の老朽化が進む中で、適切な維持管理に加え、建て替えや長寿命化、配置適正化の検討を進めて極力将来に負担を掛けない取り組みを行う必要があります。</li> </ul>

No.	意見	対応方針	新（修正案）	旧（前回素案）
		が必要？	を行う必要があります。	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型都市についての記載が減っているので、記載すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題は第5次総合計画でも大切な問題と捉え、加筆する。</li> </ul>	P11 ④安全・安心な地域社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、国内外を問わず気候変動や廃棄物といった環境問題が深刻になっています。本町においては、岬町地球温暖化対策実行計画及び岬町プラスチックごみゼロ宣言に基づき廃棄物の減量化、…</li> </ul>	P9 ④安全・安心な地域社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>本町においては、岬町地球温暖化対策実行計画及び岬町プラスチックごみゼロ宣言に基づき廃棄物の減量化、…</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「超高齢社会への対応」の文章を、中高年の時期からの受診率向上や、健康に対する意識向上、多世代にわたって健康増進を進めていくことが分かる文章・タイトルとしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に対する意識向上の文言を追加。</li> </ul>	P9 ②超高齢社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの努力により健康寿命を延伸し、健康に対する意識向上を図る必要があります。また、保健・医療・福祉の連携を図り、地域やNPO・ボランティアなど各種団体が協働できる環境を整備する必要があります。</li> </ul> タイトル <ul style="list-style-type: none"> <li>人生100年時代 に変更</li> </ul>	P8 ②超高齢社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの努力により健康寿命の延伸、健康に対する意識向上を延伸することに加え、また、保健・医療・福祉の連携を図り、地域やNPO・ボランティアなど各種団体が協働できる環境を整備する必要があります。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアや地域共生社会について言及すべき。</li> <li>町を挙げてのケアシステムといった、具体的な事項が盛り込める内容としてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築について言及。</li> </ul>	P9 ②超高齢社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>そのため、地域包括ケアシステム構築を進めるとともに、医療と介護の連携、地域における支援など、関係団体や機関同士の連携構築が必要です。</li> </ul>	P7 ②超高齢社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>そのため、医療と介護の連携、地域における支援など、関係団体や機関同士の連携体制の構築が必要です。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会潮流と分野別課題の記載順は現行のままでよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の掲載順のままとする。</li> </ul>	—	—
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄についての文章を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄は第5次総合計画でも大切な問題と考え、加筆する。</li> </ul>	P11 安全・安心な地域社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…不法投棄の防止など、身近なところから、環境への認識を深め、意識を高める必要があります。</li> </ul>	P9 安全・安心な地域社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…さらなる環境への認識を深め、意識を高める必要があります。</li> </ul>

No.	意見	対応方針	新（修正案）	旧（前回素案）
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政が率先して、行政や民間のプロジェクトの構築や地域団体の設立に取りくむべきだ。</li> <li>人材育成が大切なので、できることから仕掛けていただきたい。部署を横断する形で行政が対応することも大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画での記載を検討する。</li> </ul>	—	—
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の在り方について、住民の意見を求めることができるように加筆できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の統廃合に対し具体的な言及を避け、施設の配置を検討するに止めた。</li> </ul>	P12 ⑤都市基盤の整備と維持への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…<b>建て替えや長寿命化を前提とした維持管理に加え、適正な配置を視野に入れた更新の検討を、</b>…</li> </ul>	—
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家を活用した移住者を呼び込む施策を書き込めないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の活用について言及。</li> </ul>	P12 ①誰もが住みやすい環境づくりの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>リノベーションを視野に入れた空き家の活用、</b>移住・定住の推進による人口維持へ向けた取り組みとあわせ、人口減少に対応できる地域社会の構築のための取り組みが求められます。</li> </ul>	P10 ①誰もが住みやすい環境づくりの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>…移住・定住の推進による人口維持へ向けた取り組みとあわせ、人口減少に対応できる地域社会の構築のための取り組みが求められます。</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山市加太との経済交流は、岬町がリードする必要がある。岬町観光協会もバックアップする体制が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画での記載を検討する。</li> </ul>	—	—

第5次総合計画（はじめに）素案（事務局による修正）

No.	加筆・修正理由	新（修正案）	旧（前回素案）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初は、関東圏を含めた被害が出た平成30年以降と云う表現であったが、平成28年の熊本地震を取り上げていることもあり、関西で甚大な被害のあった平成29年の台風から取り上げるべきとの判断による。</li> </ul>	<p>P6 (2)安全・安心がより重視される時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…大阪北部地震などの発生や、東海・東南海・南海地震等、南海トラフにおける巨大地震発生の切迫性の高まり、<b>気象においても、近年の気候変動に伴い、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化し、大阪では特に平成29年（2017年）以降の台風や豪雨による被害の発生、…</b></li> </ul>	<p>P4 (2)安全・安心がより重視される時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…大阪北部地震などの発生や、東海・東南海・南海地震等、南海トラフにおける巨大地震発生の切迫性の高まりなどから、大規模災害に対する関心は一層高まっています。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年末より感染拡大し、今や世界的にパンデミックとなっているコロナウイルスも安全・安心対策に不可欠と判断した。</li> </ul>	<p>P6 (2)安全・安心がより重視される時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…一方、世界的には、2002年に中国から感染拡大した<b>重病急性呼吸器症候群（SARS）</b>、2012年にアラビア諸国から発生した<b>中東呼吸器症候群（MERS）</b>、そして、2020年に<b>感染拡大した新型コロナウイルス（COVID-19）</b>と云った<b>感染症の拡大等様々な脅威にさらされ、災害に対する関心は一層高まっています。</b></li> </ul>	—
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス対策により、今後持続して生活環境を変えて行かざるを得ないとしている為。</li> </ul>	<p>P7 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単身世帯や高齢者世帯、共働き世帯の増加、<b>感染症対策の為に新しい生活様式</b>など、社会状況の変化により、ライフスタイルの多様化とともに、価値観や住民ニーズも多種多様になっています。</li> </ul>	<p>P5 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単身世帯や高齢者世帯、共働き世帯の増加など、家族の状況や社会環境の変化により、ライフスタイルが多様化するとともに、価値観や住民ニーズも多種多様になっています。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス対策により、新しい働き方を模索する必要が出てきている為。</li> </ul>	<p>P7 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…その両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」の考え方が定着し、「仕事」に至っても<b>テレワークを導入する等新たな働き方が定着しつつあります。</b></li> </ul>	<p>P5 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…その両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」の考え方が定着しつつあります。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい働き方とワーク・ライフ・バランスが密接に関係している為、必要と判断。</li> </ul>	<p>P7 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本町においても、今後、「ワーク・ライフ・バランス」や「テレワーク」の推進、住民一人ひとりの個性や能力が発揮できるようなまちづくりに取り組んでいく必要があります。</li> </ul>	<p>P5 (3)ライフスタイルや価値観の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本町においても、今後、「ワーク・ライフ・バランス」の推進や、住民一人ひとりの個性や能力が発揮できるようなまちづくりに取り組んでいく必要があります。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の提案では、コロナウイルスが一過性のもので、持続するものであるとの前提で書いていなかったが、現時点では、コロナウイルスと上手に付き合いながらの生活が予想され、パンデミック前同様の訪日外国人の受け入れは難し</li> </ul>	<p>P7 (5)社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>方や、訪日外国人旅行者（インバウンド）数は平成23年（2011年）以降大幅に増加しており、平成30年（2018年）には3,000万人に達しています。しかし、令和2年（2020年）に流行した新型コロナウイルス（COVID-19）により、</b></li> </ul>	<p>P5 (5)社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、訪日外国人旅行者（インバウンド）数は平成23年（2011年）以降大幅に増加しており、平成30年（2018年）には3,000万人に達しています。令和7年（2025年）に日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催を控え、今後も引</li> </ul>

No.	加筆・修正理由	新（修正案）	旧（前回素案）
	く、外国人旅行者は減少前提で考えるべきと判断。	訪日外国人旅行者の数は激減し、世界中で生活様式が変わりつつあることから、令和7年（2025年）に日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催を控えてはいますが、外国人旅行者の減少は避けられないものと思われまます。	引き続き外国人旅行者数は増加することが見込まれます。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材回帰が進む一方、それに合わせた企業の誘致、誘致する際にはリスクマネジメントを考えた上での進出が望ましく、その為の支援と進出した企業に送り出す人材の養成が必要と判断した為。</li> </ul>	<p>P11 ④安全・安心な地域社会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化に起因する異常気象による大規模な自然災害や東海・東南海・南海の地震連動が懸念されています。大規模災害が発生した際に予想される、通常業務及び災害対策業務の機能停止・低下を最小限に抑えるため、業務を効果的に実施するにあたって必要な資源の準備や対応方針を定めた業務継続計画（BCP）がますます重要視されています。また、事業者に対しても策定支援等、安全・安心を確保するための防災・減災対策が求められています。</li> </ul>	<p>P9 ④安全・安心な地域社会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化に起因する異常気象による大規模な自然災害や東海・東南海・南海の地震連動が懸念されており、安全・安心を確保するための防災・減災対策が求められています。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通網の発達で世界中が身近な地域となり便利となる一方、コロナウイルスを始めとする感染症が一度蔓延すると、世界中で蔓延すると云うリスクに晒されます。岬町の近くには関西国際空港があり、海外から感染症が持ち込まれた場合、非常に高いリスクを負う事となります。</li> </ul>	<p>P11 ④安全・安心な地域社会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通網の発達により、世界各国が身近になっています。特に、当町は関西国際空港が近在しており、2020（令和2年）にパンデミックとなった新型コロナウイルス（COVID-19）を代表とする感染症に対し、水際で封じ込める対策と感染を拡大させない為の対策が求められています。</li> </ul>	—
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)の②の三番目の「・」の「医療、介護、福祉・・・」に吸収出来る為、「健康づくりや介護予防」を抹消。</li> <li>(1)の②の四番目の「・」に統合可能である為、「生涯スポーツや生涯学習を通じた生きがいづくり」を抹消</li> </ul>	<p>P9 ②人生100年時代への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や高齢者に仲間入りする前からの社会参加や…</li> </ul>	<p>P7 ②人生100年時代への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりや介護予防の充実はもとより、生涯スポーツや生涯学習を通じた生きがいづくり、高齢者や高齢者に仲間入りする前からの社会参加や…</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)の②の四番目と六番目の「・」において、行政から見た官民協働と住民から見た官民協働の違いであり、意識が同じである事から同じ問題意識として統合。</li> </ul>	削除	<p>P11 ②コミュニティの活性化と協働のまちづくりへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体意向調査において「役場や住民との協働についてこれまで同様に実施していきたい」、「今後は実施したい」との意見が多く挙げられた一方、町内で活動する団体・組織の情報交換の場の設置を求める意見も挙げられたことから、団体のネットワーク化を図る機能を充実することが求められています。</li> </ul>

No.	加筆・修正理由	新（修正案）	旧（前回素案）
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>（2）の③の一番目と四番目の「・」において、財政の健全化について、視点は異なるが、最終は同じ目標である為統合。</li> </ul>	削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政の健全化には、行政のスリム化や効率化により歳出を抑制するだけでなく、定住促進や地域産業の振興、企業誘致、観光・レクリエーションの活性化などによって、いかに歳入を増やし、町の財政力を強化するか、さらには働く場を増やし、まちに活気を生み出すかという考え方も合わせて求められています。</li> </ul>